

指標 5.1：看護チーム内の役割分担が明確になっている

評価の対象	評価方法	評価内容	質問項目
書類 業務分担表	*誰でもみられるところに明示されている必要がある。	5. 1. 1 業務調整がどのようになされているかを明示するシステムがある	<p>1) 調査当日の日勤帯の看護婦の業務分担表がある 業務分担表 () ある () ない 担当する仕事 () 明示されている () されていない</p> <p>2) その日の日勤帯の責任者が明示されている a () その日の責任者として氏名が明示されている b () その日の責任者が明示されていない</p>
書類 業務規定	<p>具体的・理解しやすさ・整備して書かれているかを見て「明示している」とみなす。</p> <p>*責任内容とは責任をとるべき項目</p> <p>*業務内容とは仕事として行う内容</p> <p>*看護体制により</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プライマリーナーシング <ul style="list-style-type: none"> (1)に記入 ・チームナーシング <ul style="list-style-type: none"> (2) (3)に記入 ・混合型 <ul style="list-style-type: none"> (1) (2) (3)に記入 ・機能別 <ul style="list-style-type: none"> (4)に記入 	5. 1. 2 役割毎の業務規定がある	<p>1) 師長 責任内容 a() 明示されている b() されていない 業務内容 a() 明示されている b() されていない</p> <p>2) その他の役割 (1) プライマリーナース 責任内容 a() 明示されている b() されていない 業務内容 a() 明示されている b() されていない</p> <p>(2) リーダー 責任内容 a() 明示されている b() されていない 業務内容 a() 明示されている b() されていない</p> <p>(3) メンバー（スタッフ） 責任内容 a() 明示されている b() されていない 業務内容 a() 明示されている b() されていない</p> <p>(4) 各機能 責任内容 a() 明示されている b() されていない 業務内容 a() 明示されている b() されていない</p>

指標 5.2：看護師同士の協力体制がある

評価の対象	評価方法	評価内容	質問項目
書類 人員配置の基準を記載したもの		5. 2. 1 病棟の業務量が増えたときに勤務者数を変えるための決まり事がある。	a() 決まり事があり、明文化されている b() 決まり事はあるが明文化されていない c() 決まり事はない
		5. 2. 2 病棟のスタッフの欠員が生じたときに勤務者数を変えるための決まり事がある。	a() 決まり事があり、明文化されている b() 決まり事はあるが明文化されていない c() 決まり事はない

指標 5.3：看護師間で情報を共有したり、働きかけの方向性を考える場がある

評価の対象	評価方法	評価内容	質問項目
書類 カンファレンスの記録		5.3.1 看護師間で看護計画を見直すための場や機会がある	<p>1) 看護計画を見直すための場や機会があって、その記録がある 場や機会 () ある () ない 記録 () ある () ない</p> <p>2) 1)について次回の場や機会の開催日が決まっている a() 決まっている b() 決まっていない</p>

指標 5.4：他職種が集まって話し合いの場がある

評価の対象	評価方法	評価内容	質問項目
書類 カンファレンスの記録	カンファレンスの記録や現状をもとに判定する	5.4.1 患者の看護ケアに関して、他職種が集まり話し合う場がある	<p>1) 話し合う場があり、その記録がある 話し合う場 () ある () ない 記録 () ある () ない</p> <p>2) 話し合う場を作り運営することに関して看護職は何らかの役割をとっている（メンバーの招集、連絡、記録、運営） a() 役割をとっている b() 役割をとっていない</p>

指標 5.5：スタッフ間の関係性が良い

評価の対象	評価方法	評価内容	質問項目
看護師	過程・自己評価者が回答する	5.5.1 病棟では看護師同志や他の職種と気持ちよく仕事ができている	<p>1) 看護師同志 a() 非常に気持ちよく仕事ができる b() まあまあ気持ちよく仕事ができる c()あまり気持ちよく仕事はできない d()気持ちよく仕事ができない</p> <p>2) 他職種 a() 非常に気持ちよく仕事ができる b() まあまあ気持ちよく仕事ができる c()あまり気持ちよく仕事はできない d()気持ちよく仕事ができない</p>

指標 6.1：インシデント発生の対応システムがある

評価の対象	評価方法	評価内容	質問項目
設備 お風呂	実際に浴室を見て 判断する * 片麻痺の患者が 介助なしで入浴可 能になった状態を 想定して判断する。	6.1.1 入浴設備の安 全性が確保されてい る	1) 手すり a () 浴槽に安全にたどりつくのに十分 b () 不十分 c () 手すりはない 2) 滑り止め (浴室の床にすべらない工夫がされている) a () 浴槽に安全にたどりつくのに十分 b () 不十分 c () 滑り止めはない 3) ナースコール a () 患者が使いやすい場所に十分ある (十分とは、ナースコールが脱 衣所と浴室にそれぞれ設置されていることをいう) b () あるが不十分 c () ナースコールはない
トイレ	実際にトイレを見 て判断する * 片麻痺の患者が 介助なしで使用す ることを前提とし て、自分で座って確 認する。	6.1.2 トイレの設備の 安全性が確保されて いる	1) 手すり a () 便座に安全にたどりつくのに十分 b () 不十分 c () 手すりはない 2) ナースコール a () 患者が使いやすい場所に十分ある b () あるが不十分 c () ナースコールはない

指標 6.2：インシデント発生時の対応システムがある

評価の対象	評価方法	評価内容	質問項目
書類 事故防止対策 を取り決めて いるもの	* 事故が生じた際 にどのように取り 扱うかの決まりが あるかないかをチ ェックする。	6.2.1 インシデント発 生時の対応システム がある	1) 患者の転倒・転落が生じた際に報告するシステムがある a () ある b () ない 2) 患者の転倒・転落が生じた際、どのような場合にインシデントレポー トを書くのかの基準がある a () 基準があり、明文化されている b () 基準はあるが、明文化されていない c () 基準がない 3) 転倒・転落が生じた際に発生から報告、事後処理までの手順について 明記されたものがある a () 明記されたものがある b () 明記されたものはない

看護ケアの質

過程自己評価表 V e r . 4

この質問紙は、当該病棟の管理者の方が選んだ患者さん（＊＊さん）についてお尋ねするものです。選択肢の中から該当するものを選び〇をつけてください。また、<>内の質問にお答えください。

1. **さんの1日の流れについて、**さん本人に伝えましたか。伝えた内容を記入してください。患者について答えられない場合は、家族についてお答えください。

<伝えた内容を具体的にお書きください。>

<伝えていない場合はその理由をお書きください。>

<あなたの自己評価を選んでください>

- a. 今日の流れ（スケジュール）を決める際、患者やご家族と協議した
- b. （協議はしていないが）時間や誰がするかという予定を伝えた
- c. （協議はしていないが）何があるかだけを伝えた
- d. 予定を伝えていない

2. **さんの身体状態・生活の状況について今一番気をつけてることとそれに対する看護ケアをお書きください。

3. **さんの今後の見通しをあなたがわかる範囲で記入してください。

4. **さんの見通しを**さん本人にどのように伝えていますか。その内容をお書きください。患者について答えられない場合は、家族についてお答えください。
(事情があって虚偽の見通しを伝えた場合も伝えたものとしてお答えください)。
<伝えた内容をお書きください>

<伝えていない場合は、なぜ、伝えなかつたのか、理由をお書きください。>

<あなたの自己評価を選んでください>

- a. 自分が伝えた
- b. 医師が伝える場を作り伝えた
- c. 間接的に伝えた（例：誰かに頼んだ、パンフレットを渡した）
- d. 伝えていない

5. あなたは＊＊さんが病気や現在の状況をどのようにとらえて、今後どうなりたいと思っているのかを知っていますか。その内容をお書きください。
患者について答えられない場合は、家族についてお答えください。
<患者さんやご家族がどうなりたいと思っているか、具体的にお書きください。>

<それはどのようにしてわかったのですか。>

<あなたの自己評価を選んでください>

- a. 患者に直接自分が確認して知っている、もしくは記録類から確認した
- b. 直接患者に確認したわけではないが、患者の反応や言動から察した
- c. その患者のことではなく一般的な患者の反応から憶測した
- d. 知らない

6. 患者さんやご家族が医療者に対して望んでいることについてお聞きします。

6-1) あなたは、**さんがどのような情報を欲しいと思っているかを知っていますか。その情報をおあげて、内容をお書きください。患者について答えられない場合は、家族についてお答えください。

<それはどのような情報ですか。具体的にお書きください。>

<それはどのようにしてわかったのですか>

<あなたの自己評価を選んでください>

- a. 患者に直接自分が確認して知っている、もしくは記録類から確認した
- b. 直接患者に確認したわけではないが、患者の反応や言動から察した
- c. その患者のことではなく一般的な患者の反応から憶測した
- d. 知らない

6-2) その情報を**さんやご家族にどのように伝えましたか。

- a. 自分が伝えた
- b. 医師が伝える場をつくり伝えた
- c. 間接的に伝えた（例：誰かに頼んだ、パンフレットを渡した）
- d. 伝えていない

6-3) あなたは、**さんが看護師にどのようなことをして欲しいと思っているかを知っていますか。その内容をお書きください。患者について答えられない場合は、家族についてお答えください。

<それはどのようなことですか。具体的にお書きください>

<それはどのような出来事があつてわかったのですか>

<あなたの自己評価を選んでください>

- a. 患者に直接自分が確認して知っている、もしくは記録類から確認した
- b. 直接患者に確認したわけではないが、患者の反応や言動から察した
- c. その患者のことではなく一般的な患者の反応から憶測した
- d. 知らない

6-4) **さんやご家族がして欲しいと思っていることについて、どうしていますか。できるだけ具体的にお書きください。

7. 患者と家族の絆を強めるためのケアについてお聞きします。

7-1) **さんのケアの中で、家族の絆を強めるために家族にしてもらっていることはありますか。

() はい → 質問 7-2)、7-3)、7-4)、7-5)へ進んでください

() いいえ → 質問 7-6)、7-7) へ進んでください

7-2) その内容を具体的にお書きください。

7-3) 7-2) で答えた内容が家族の絆を強めると思ったのはなぜですか。

7-4) ご家族にしてもらうにあたって工夫していることがありますか。

- a. 工夫している
- b. 工夫していない

<工夫している場合は、具体的な内容をお書きください。>

7-5) 患者と家族の絆を強めるために、他にあなたがしていることを書いてください。

→ 記載後は、質問8へ進んでください。

7-6) なぜご家族にしてもらっていることがないのか、お書きください。

<理由がはっきりしている場合、その具体的な内容をお書きください。>

- a. 理由がはっきりしている
- b. 理由がない

7-7) 患者と家族の絆を強めるために、あなたがしていることを書いてください。

8. **さんの痛みについてお聞きします。

8-1) **さんの痛みを緩和するための治療や看護についてその内容、患者の生活状況の変化、緩和対策への反応を含めて具体的に記入してください。

8-2) その結果、**さんの痛みはコントロールされていますか。されている、あるいはされていないと思う理由を述べてください。

8-4) **さんの痛みの状態は本人にどのように説明していますか。

<あなたの自己評価を選んでください>

- a. 原因、根拠を具体的に伝えている
- b. 具体的ではないが伝えている
- c. 本人が原因・根拠をわかっていると思うので、伝えていない
- d. 全く伝えていない

8-5) 痛みに対して行っている治療・処置について、**さんに説明していますか。

- a. 自分が説明している
- b. 自分は説明していないが、ほかの看護師が説明した内容を知っている
- c. 説明していない

8-6) 痛みに関してどのような看護ケアを提供するか説明していますか。

- a. 自分が説明している
- b. 自分は説明していないが、ほかの看護師が説明した内容を知っている
- c. 説明していない

8-7) 痛みに関する見通しを**さんに説明していますか。

- a. 自分が説明している
- b. 自分は説明していないが、ほかの看護師が説明した内容を知っている
- c. 説明していない

8-8) **さんに限らず日頃、痛みの治療について医師にどのように働きかけていますか。その内容を記入してください。

<働きかけた言葉や内容を具体的に記入してください。>

<あなたの自己評価を選んでください>

- a. 現状、根拠を含めて改善策を言っている
- b. 改善策はあるが根拠を述べていない
- c. 現状を述べているが改善策がない
- d. 意見を言っていない

9. ケアの変更についてお聞きします。

9-1) **さんの痛みに対し前に行っていたことと、今日あなたが変えたことはありますか。

() はい → それはなぜですか。

() いいえ→ それはなぜですか。

9-2) **さんに限らず、これまでの経験であなたがケア方法を変えたとき、他のスタッフにその内容を伝えましたか。以下から選択してください。

- a. 伝えた
- b. 伝えていない
- c. 該当なし（これまでの経験上、ケア方法を変えたことがない）

<a. 伝えた を選択された方は、どのようなことを伝えたのか、
該当するものすべてに○をつけてください。>

- () 変更したケアの方法
- () 変更したケアの根拠
- () 変更した計画（例：次の評価時期など）

10. **さんの保清についてお聞きします。

10-1) 今日、実施した**さんの保清に関して患者さんの個別性に合わせて、病棟で
ふだんする保清のやり方に追加したり、修正したことがありますか。

- () はい → 10-2) へ進んでください
- () いいえ → 10-3) へ進んでください

10-2) 追加・修正した内容とその理由をお書きください。

10-3) それはなぜですか。

11. **さんのADL（日常生活動作）を上げていったり、維持していくときのことをお聞きします。

- 11-1) **さんにとて、苦痛や危険を伴うけれども、回復のためや**さんの希望に添うようにケアをすすめたことについて、その内容を具体的に書いてください。（例：術後のADL拡大や経口摂取の開始など）
**さんで経験がなければ、他の患者さんについて書いてください。
また、このような経験がない方は、12-1)へ進んでください。

11-2) そのケアの根拠となる患者の回復の可能性や患者の希望とは何ですか。

11-3) そのケアをすすめた時の予測された苦痛や危険性（リスク）は何ですか。

11-4) そのケアを進める中で、中止する際の観察すべきサインはなんですか。

11-5) その苦痛やリスクにどのように配慮しましたか。

12. 日頃の看護師間の協力についてお聞きします。

12-1) この1週間で、他の看護師を手伝ったことがありますか。

- a. はい
- b. いいえ → 12-3) へ進んでください

< a. はい を選択した方は、手伝った内容をお書きください。>

12-2) 手伝った方はどうしてそのような手伝いをしたのですか。

- a. 自主的に手伝った
- b. 頼まれて手伝った
- c. 指示されて手伝った

12-3) **さんに限らず、病棟全体を巻き込むような突発的なこと（心停止・急変など）が起こった時にあなたはどうしましたか。あなたがしたことと具体的に教えてください。

13. **さんに限らず、医師の指示内容が患者の状態にあっていない、あるいは不確かだと思ったとき、あなたはどう判断し、何を行いましたか。一般論ではなく患者さんの状況、医師に働きかけた具体的な言葉、内容をお書きください。

14. 今日あなたは自分の役割を、**さんやご家族に伝えましたか。

- a. はい
- b. いいえ

15. あなたは、**さんやご家族に初対面の時に自己紹介をしましたか。

- a. はい
- b. いいえ

16. 今日、**さんに行った検査、処置の看護ケアは手順通りに行いましたか。

- a. 手順通りに行った
- b. 理由があつて手順を変更した
- c. 手順通り行わなかつた

17. あなたの病棟では看護師同士や他の職種と気持ちよく仕事ができていますか。

17-1) 看護師同士の場合

- a. 非常に気持ちよく仕事ができる
- b. まあまあ気持ちよく仕事ができる
- c. あまり気持ちよく仕事はできない
- d. 気持ちよく仕事ができない

17-2) 他の職種の場合

- a. 非常に気持ちよく仕事ができる
- b. まあまあ気持ちよく仕事ができる
- c. あまり気持ちよく仕事はできない
- d. 気持ちよく仕事ができない

18. 面会についてお聞きします。

18-1) あなたの病棟の面会時間は決まっていますか。

- () 決まっている → 18-2)、18-3) へ進んでください
() 決まっていない → 質問はこれで終了です

18-2) 面会時間をお書きください。

時 ~ 時まで と 時~ 時まで

18-3) 面会時間の融通について以下の中から該当するものを選んでください。

- a. 対応した看護師の判断で融通できる
- b. 師長か主治医に判断を委ねる
- c. 融通することはない

アウトカム評価マニュアル

(自己評価用)

アウトカムデータについては、QI 本部に報告のこと

アウトカム評価マニュアル

看護の結果（アウトカム）については以下の2項目について調査し、評価する。

1. 「入院中の看護に関するアンケート」を用いて患者・家族から満足であったか、不満足であったかを調査する。
2. 「転倒・転落・褥創の発生件数チェック表」を用いてインシデントの発生率を評価する。

1. 「入院中の看護に関するアンケート」について

1) 内容

本アンケートは、患者・家族が受けた看護に対して『満足』であったか『不満足』であったかを①尊重 ②痛みのケア ③安心 ④医療チームの連携 ⑤患者の満足 ⑥家族へのケア ⑦（家族の）気がね ⑧家族の満足、の8つの側面から評価している。各側面の詳細は下記に示す。

①尊重は、看護職から尊重されていたかどうかについて

患者用質問紙：問3, 7, 8, 9, 12, が該当する。

②痛みのケアは、痛みがあった時の痛みの看護ケアについて

患者用質問紙：問4, 5, 6 が該当する。

③安心は、看護ケアを受けた際の安心について

患者用質問紙：問1, 2 が該当する。

④医療チームの連携は、医療チーム内での情報伝達について

患者用質問紙：問10, 11 が該当する。

⑤患者の満足は、患者への質問の総合得点

患者用質問紙：全項目が該当する。

⑥家族へのケアは、看護婦が家族に対して行ったケア

家族用質問紙：問2, 3, 4 が該当する

⑦気がねは、家族が看護婦に気兼ねなく患者と一緒にいられたかどうかについて

家族用質問紙：問1 が該当する

⑧家族の満足は、看護ケアに対する家族の満足について

家族用質問紙：問1, 2, 3, 4 が該当する。